

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	四国西濃	こばうん	熊本西濃	ロジックス	セイノー通関
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14店所中90%未満が3店所(高知・松山・中村)</li> <li>・98%の目標達成店所が1店所(三島)</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月間100枚以上出荷荷主7社のEDI化が進んでいない</li> <li>・荷主システムを考慮した、EDIの提案ができていない</li> <li>・原票、荷札作成業務に時間を要し、生産性が低下している</li> </ul>	<p>【KMⅡの導入促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状導入頂けてない発送荷主様は自社で独自の送り状作成システムを持っておられ新たにKMⅡを導入することを嫌う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: お客様ポータルサイトの利便性向上、UI刷新を今期目標に据えている</li> <li>B: 契約書を紙ベースで管理/保管運用していたが、情報の検索や契約期間管理に大きく工数がかかっていた</li> <li>C: 顧客体験の属人化、ばらつきや、個人の業務内容のブラックボックス化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内システムとNACCS(通関情報処理システム)の2重入力をしなければならない</li> </ul>
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI-OCRの撮影成功率の定着に向け乗務員、荷主別、対象原票毎の実績を店所へ配信し、未撮影乗務員、撮影成功率の低い乗務員への個別指導を実施</li> <li>・非EDI荷主608社 対象枚数5,000枚 EDI化率約2%へのKMⅡ導入交渉を実施</li> <li>・EDI化にあたり輸送情報交換の導入必要荷主については、電算課にて交渉の同席を行いフォローする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に行った大手荷主渉外内容を再度見直し、現在の状況を検証、把握する(セイノー情報と連携を図り、荷主システムに合せたEDI提案を行う)</li> <li>・毎週配信しているメルマガを活用し、お客様に理解いただける内容に変え配信し認知していただく(他社成功事例)</li> <li>・月間30枚以下出荷46社のEDI化EDI促進(事務所アシスト)1名選定プランナーと共に2名体制で業務分散化を行い、設置等フォローする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社だけでなく同業他社も巻き込んで(Y社F社)EDI化のメリットを説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: BLやInvoice、遅延情報などの書面をお客様ポータルサイトから能動的に取得できるよう改善</li> <li>B: 契約書データ化/クラウド管理システムの導入</li> <li>C: CRM導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1度の入力で済むソフトの導入を検討中</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDI化率94.32%</li> <li>前月差+0.53%</li> <li>目標差▲3.68%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度 EDI化率 82.94%</li> <li>・2023年度 4月EDI化率 85.18%</li> <li>前年度比 +2.24%向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社と足並みをそろえて交渉したことにより出荷人様もメリットをご理解頂けて導入して頂けた(4月より)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 従来は1件ずつメール配信していたが、社内工数削減に伴い、お客様へのご案内速度向上</li> <li>B: 契約書の電子化保存により履歴検索が容易、契約期間のアラートなどで更新も漏れなく行える</li> <li>C: 効果検証中であるが、UXの均一化、業務の見える化により、UXの向上や業務の質の向上、効率化を目指している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1度の入力でデータ連動する</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI-OCR撮影成功率の向上を図る為、乗務員、荷主、対象原票毎の実績配信、個別指導を継続する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI-OCRの推進及び撮影成功率の向上</li> <li>・非EDI荷主に対し、お客様の利便性、EDI化について理解していただき、導入を並行して進める</li> <li>・勉強会を開催しスキルアップを図り、渉外、導入に関するプレイヤーを増やすアシスト以外の事務職の知識向上によるお客様お問い合わせ対応の共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社だけでなく同業他社も各システムを導入してDX化を更に進化させていこうとしている中で同業他社とも連携して出荷人様へ交渉することも1つの手段</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 依然FAXやメールの需要も残る業界であるが、将来を見据え新しい仕組みを同業他社に先んじて構築していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力作業の効率化、省力化</li> </ul>